

# 平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：消防防災課  
 担当名：防災訓練担当  
 内線：8186

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B13	災害対策用物資備蓄費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	災害対策用物資備蓄費	
事業期間	昭和52年度～	根拠法令	災害対策基本法			戦略項目	05	大規模災害への備え	
					分野施策	010501	危機管理・防災体制の強化		
<p>1 事業概要</p> <p>災害時に物資を避難所等の被災者に迅速に支給するため、食料品、生活必需品、医薬品等を防災基地等に備蓄する。</p> <p>(1) 震災用食料品備蓄等対策費 47,066千円                      被害想定見直し、入札差金及び配当留保額の減額等による。</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      災害時に避難所等の被災者に支給する食料品、生活必需品、医薬品等を防災基地等に備蓄する。</p> <p>ア 災害用生活必需品対策事業費                      県民の基本的な生活を確保するのに必要な生活必需品の購入等 13,308千円</p> <p>イ 災害用医薬品対策事業費                      災害時の医療活動を行うのに必要な医薬品の購入等 10,903千円</p> <p>ウ 震災用食料品備蓄等対策費                      保存期間が長くかつ調理不要な食料品の購入等 108,651千円</p> <p>(2) 事業計画                      地震被害想定調査で想定した東京湾北部地震によるピーク時避難人口に対応することを目標とする。                      また、賞味期限や使用期限を迎える備蓄品を随時更新する。</p> <p>ア 平成26年度                      賞味又は使用期限を迎える備蓄品の更新</p> <p>イ 平成27年度                      賞味又は使用期限を迎える備蓄品の更新</p> <p>ウ 平成28年度                      賞味又は使用期限を迎える備蓄品の更新</p> <p>(3) 事業効果                      防災基地等に現物で物資を備蓄しておくことで、災害時に迅速に被災者へ支給することができる。</p> <p>(4) その他                      前年度から変更した内容</p> <p>ア 生活必需品の更新数量の変更</p> <p>イ 医薬品の更新数量の変更</p> <p>ウ 食料品の更新数量や品目の変更</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分                      (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況                      なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員                      9,500千円×0.5人=4,750千円</p>									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	47,066							47,066	84,109
現計額	131,175							131,175	